



きくがわ 社協だより

No.140
2016年
10月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

菊川市社協

検索

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

増やしていきませんか? 地域の中の居場所



内田地区「徳々サロン」の様子

身近なところに気軽に行ける場所があって、そこに集まった人たちとおしゃべりや交流をすることは、心身の健康維持にとっても良いことだと思います。

また、集まることで地域の人たちや地域の良さを知り、助け合いの気持ちや支え合うしくみも生まれてくるのではないのでしょうか？

今回は、様々な「居場所」について考えてみたいと思います。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会

〒439-0019 静岡県菊川市半済1865(プラザげやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202

Eメール info@kiku-syakyou.or.jp

「居場所」はいつまでか 考えてみまじょう

「居場所」とは？

年齢や障がいの有無にかかわらず誰もが自由に行くことができ、自由に過ごせる場所のことです。

静岡県では、「ふじのくに型福祉サービス」の取り組みの一つとして「居場所づくり」を推進しています。

菊川市では「ふれあいいきいきサロン」の活動が中心で、社会福祉協議会が把握しているサロンだけでも、現在39箇所あります。

サロンの開催は週一回、月一回、年四回などさまざまです。内容も、おしゃべり、体操、レクリエーション、物づくり、子どもたちとの交流、会食などさまざまです。

現在は、高齢者を対象としたサロンがほとんどですが、地区の方なら誰でも参加できるサロンもあります。

また、「子育てサポートりぼん」や「子

育てサポーターあれば」の皆さんが開催している子育てサロンもあります。

「サロン」と「居場所」の違いは何でしょうか？サロンも人が集まる場ですから居場所になるのですが、サロンは開催日や利用対象者が決まっています。ボランティアが運営をしています。居場所は、いつでも利用できる利用対象者が決まっておらず、そこに集まった人たちがやりたいことやできることをして過ごします。



「白岩東掘り所」

「居場所」が必要な理由は？

8月から9月にかけて開催した「みんなのしあわせ懇談会」では、今年度もサロンや居場所の必要性が、多くの地域で語られました。「動いたりおしゃべりをしたりすることで、元気でいられる。」「引きこもりや孤独死を防ぐことができる。」「顔が見える関係ができていれば災害時も安心。」「情報を得たり、学ぶことがある。」「などの理由で、集まる場を作りたい、増やしたいという意見が出されました。

アドバイザーの平田厚先生からは、「集めるサロンから集まるサロンへ」というお話もありました。

また、社会福祉協議会が平成23年度に実施した「菊川市ひとり暮らし高齢者生活実態及び意識調査」でも、団体などに所属している人は生活満足度が高く、不安が少ないという結果が出ています。

「居場所」に行くのはなぜ？

9月9日に、NPO法人たすけあい遠州代表 稲葉ゆり子氏を講師に、加茂地区で『サロンや居場所についての学習会』が開

催されました。

稲葉氏のお話の中で、街の居場所「もうひとつの家」(袋井市)に集まる方たちのつばやきが紹介されました。「ここには役割がある。」「ありがとを言ってもらえる。自分もありがとを言う。」「

役割があることで、自分の存在価値が実感できる。そして、みんながそれぞれの役割を理解して尊重し合っている様子をお話していただきました。

「居場所は『出会い』が生まれる。出会いがあるから気になる人ができて、助け合いが始まる。」「という言葉が印象に残りました。



「学習会」稲葉ゆり子氏

さまざまな「居場所」

9月25日には、ボランティア連絡協議会と社会福祉協議会との共催でボランティア

講演会を開催し、富士宮市にお住まいの外岡準司氏から、市とキャラバンメイトと商店街とが協働し、今年4月に発足した「みかんカフェ(認知症カフェ)」のお話を聞きしました。

「認知症カフェ」は、認知症の方とその家族を支える新しい心のよりどころ、地域の人々が直接認知症の方と交流できる場所として期待されています。

それから、外岡氏が暮らす黒田地区では、認知症の方を「黒田よりあいサロン」に誘うことで、家庭の中でも地域の中でも、認知症の方が穏やかに過ごせるようになっていきます。

また、「黒田地区に暮らしていて良かった」と言えるまちをつくるため、認知症サポーター養成講座を開催し(今年10月に27回目を実施)、認知症サポーターを増やしています。地域の子どもから大人ま



「講演会」外岡準司氏

で、たくさん目の見守っているため、認知症の方たちが徘徊したくてもできないと話されていました。

集まって知り合いになることで、認知症になっても今までと同じように暮らしていける地域となっています。

他にも、「老人クラブ」「グラウンドゴルフの会」「健康マージャン」「趣味の会」「ボランティア活動」「自治会活動」など、身近なところに集まる場はたくさんあります。皆さん、人が集う場にぜひ参加してみてください。地域や地域の人たちとのつながりを実感できると思います。

集まることで楽しく元気でいられる。仲間や気にかけてくれる人がいる。自分の役割がある。そう感じられる居場所が身近にあれば、誰もが安心して暮らしていけるのではないのでしょうか？居場所やサロンの開催を考えている方は、社会福祉協議会までご相談ください。

子ども達に囲まれてパワーをもらって 89歳 元気です

Q 現在の活動について教えてください。

地域ボランティアとして、内田小学校学習サポーターで陶芸クラブの指導を8年位やっています。教員として勤めていた頃、その学校の校長先生が陶芸をやっていて、そこで覚えて趣味として始めたのがきっかけです。その後、教育委員会から頼まれて始めは河城小へ、その後は内田小へ指導に行っています。現在、内田小へは年6回、4年生以上40名位に教えています。

陶芸を身に付けてもらって、大人になった時、趣味のひとつになってもらえたらと思います。昔は色々な物を作ったり描いたり手先を使うことが多かったが、この頃の子どもはコンピューターをやったり、手先を使って物を作るということが少ないと思います。陶芸は手先も使って頭も思考して作るというのはとても良いと思います。

また、この歳になって、子どもたちと一緒にやるというのは、子どものパワーをもらうし、子どもの楽しい雰囲気に入っていきと言うのは、明るく生きていく年寄りの励みになります。子どもはかわいいし、学校の子どもと一緒にやるのは自分も楽しいです。



横山海夫さん (自治会名：高田)

Q 活動して楽しいことや印象に残っていることがあったら教えてください。

陶芸を教えていて、毎回、子どもが一生懸命に作品に取り組んでくれる姿がうれしいです。他にも、防犯協会を平成8年頃からトータル17年間やらせてもらいました。車の屋根の上に青色パトライトを載せて地域を回ったり、高齢者の家を訪問し詐欺予防の呼び掛けなどの活動をして表彰を受けました。また、太郎坊大権様のお世話や自治会の役員、青少年健全育成会、老人会の役、学校協議会、お宮の役などさせて頂いたお陰様で健康でいられると思います。

Q 趣味や楽しみなことは何ですか。

物を作ることが好きです。80歳になってからは毎年1枚、記念に絵（アクリル水彩画）を描いて常葉の菊川美術展に出展しています。額も手作りしています。

陶芸も高じて、窯を買って、家でも作っています。

Q これからの目標や、やってみたいことがあったら教えてください。

やりたいと思っても中々出来ないですが、地域で高齢者が集まって話したり、作ったりする会場が出来ればと思っています。学校のボランティアも頑張ってお役に立てたらと思っています。

高齢になると体力が衰え、思った事が出来ないので、ウォーキングなどして、先ず健康づくりが一番の目標ですね。

これからも、孫たちと楽しく遊んで、生き生きした明るいおじいちゃんになりたいと思います。



アクリル水彩画



陶芸の作品

※皆さんのお近くで笑顔輝いている方がいましたら社会福祉協議会へご紹介ください。

花咲くあおばだい

花いっぱいの街づくりと、会員相互や地域住民との親睦を図り、花を通して気持ちのよい挨拶あふれる地域づくりを目指そうと、平成12年に会が出来ました。

目的

青葉台住宅団地を花いっぱいの地域にするために、種から花苗の栽培を行い、花壇の植栽、手入れを行うと共に、各戸へ会員が育てた花苗の配布を行う。この活動を通じて会員相互、地域住民との親睦を図ると共に、各人の技術力の向上を図る事を目的としています。

紹介

春と秋、コンテナに種まきを行い、育った苗をポットに移植、その後花壇に植え付けを行っています。また、自治会主催行事の「8月の納涼祭」と「元旦の新年親睦会」参加者に、その育てた花の苗の配布を行っています。

青葉台コミュニティセンターのフラワーポット植栽、西面をアサガオやヒョウタンでの緑のカーテン事業、桜広場の花壇作り及び草刈、青葉台周辺の法面に桜の木の植樹も行っています。

地域にも呼びかけて「ハンギングバスケット講座」開催や「サカタの種」工場見学などの公開講座も行っています。

今までに、浜名湖花博、菊川市の花壇・ガーデニングコンクール等、花に関する行事には積極的に参加し、青葉台の元気、菊川の元気を発信しています。

一粒の種が芽を出し、根をはり、成長していく過程は体験してみると、感動を生みます。花のある風景は地域の財産と思っています。

花咲くあおばだい 代表 浅井 克悦



ハンギングバスケット講座



「サカタの種」工場研修

受賞おめでとうございます

第58回静岡県身体障害者福祉大会において、鈴木俊雄様が静岡県身体障害者福祉会会長表彰を授与されました。6月には満100歳を迎え、元気にはつらつとした毎日を送っておられ、今後の益々のご活躍を期待しております。



表彰を受けた鈴木俊雄様

菊川市心配ごと相談員研修会を開催しました

8月26日（金）にプラザけやき201会議室にて、菊川市心配ごと相談員の研修会を行いました。今回の研修会は前回3月に行った身近な法律相談の続きとして、弁護士の渡邊純男先生を講師にお招きし、近隣トラブルなど身近な問題等を法律の視点からご教授いただきました。参加した相談員からは、「わかりやすくて良かった」や「今後の相談に生かしていきたい」など好評でした。

心配ごと相談の日時は、8ページの「相談窓口」をご確認ください。



研修会の様子



講師 渡邊純男弁護士

災害ボランティア支援本部立ち上げ訓練を実施しました

8月27日（土）、プラザけやきにおいて、例年同様「菊ボコ」の皆様と協働してボランティアニーズに対してボランティアを派遣する訓練を行いました。

県外ボランティア役として、中・高・大学生や民生委員児童委員、一般市民の皆様にご参加いただき、7件のボランティアニーズに対して38人のボランティアを派遣しました。今年度は、派遣グループ毎に災害に関する意見交換の場を設け、自由に話し合いをしていただきました。学生と大人が混ざった中で、高齢者の支援、障がい者の思い、自分たちにできることなど、様々な話し合いがされました。

また、赤十字奉仕団の皆様には、アルファ米で150人分のおむすびを握っていただき、BRNきくがわの皆様には、バイクで市内の福祉施設を訪問していただきました。市役所職員の皆様と社会福祉協議会職員も含めて、総勢129人での訓練となりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



訓練の様子

写真撮影：おっ撮りカメラ隊

ボランティアの広場

ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)

「キャラバンメイト」

私たちキャラバンメイトは、認知症についての理解を広める活動として「認知症サポーター養成講座」を実施しています。

私たちは、認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者「認知症サポーター」を増やし、認知症になっても安心して暮らせる菊川市を目指しています。

認知症について知りたい、認知症の人とどう接したらよいかわからないという団体のみなさんには、ご希望に合わせた講座を開催します。

活動に興味を持たれた方、講座を受講してみたい方は、ぜひお問い合わせください。

問合せ先 菊川市長寿介護課
高齢者福祉係 ☎37-1254



キャラバンメイトのみなさん

ボランティアグループからのお知らせ

「キャラバンメイト」から参加者募集のご案内「認知症を学ぼう～生活に活かせる勉強会」

認知症サポーター養成講座と認知症予防のための「脳リフレッシュ講座」を組み合わせた新しい形の勉強会を開催します。どなたでも参加できます。

日 時 12月9日(金) 9:30～11:30 会 場 西方地区センター

日 時 1月17日(火) 13:30～15:30 会 場 ひらかわ会館

どちらの会場でも同じ内容で実施します。
参加される方はお申し込みください。



申込先 菊川市長寿介護課 高齢者福祉係 ☎37-1254 FAX37-1113

福祉タクシーをご紹介します

菊川タクシー(有)様が、車いすのまま乗降できる福祉車両を所有し、福祉タクシーの運行を開始されました。

乗車をご希望される方は、直接ご連絡ください。

菊川タクシー(有) ☎36-2321



参加者募集 各種事業

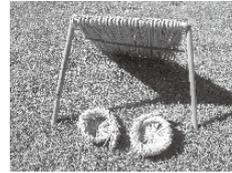
高齢者いきいき創造広場のご案内

～リフォームファッションショー&芸能交流ひろば～
皆さまのご来場お待ちしております

日時 平成28年11月15日（火）10：00～16：00

会場 菊川市文化会館アエル

内容 **10：00～ オープン**
○お茶の試飲、展示作品
○会議室にて無料体験
※どなたでも参加できます
※材料がなくなり次第終了となります



わら細工



お持ち帰りそば打ち体験

13：00～ 大ホールで開催
○自作のリフォーム衣装を着て
リフォームファッションショー
○日頃の練習の成果を舞台上で発表
芸能交流ひろば



リフォームファッションショーの様子

問合せ先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724

ふれあい企画参加者募集

精神障がい理解普及啓発交流事業「ふれあい企画」参加者募集

精神障がいをお持ちの方と一緒に花植えを行ってくださる方を募集します。
複数名のグループになって活動しますのでお気軽にご参加ください。

日時 平成28年12月3日（土）9：30～11：45

会場 きくがわ作業所、東名菊川インター

内容 障がいをお持ちの方との交流や花植え

対象 若年層の方（大学生・専門学校生等）

定員 15名（先着順）

申込み先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724 FAX35-3202



相談窓口

福祉総合相談

日時 月～金曜日 8：15～17：00

生活困窮者自立相談

日時 月～金曜日 8：15～17：00

心配ごと相談

日時 11月1日（火）9：00～12：00

11月15日（火）13：00～16：00

会場 プラザけやき

日時 11月7日（月）13：00～16：00

11月21日（月）9：00～12：00

会場 菊川市役所 小笠支所

結婚相談

日時 11月4日（金）18：00～21：00

（受付20：00まで）

11月20日（日）9：00～12：00

（受付11：00まで）

会場 プラザけやき

※初めての方は写真と印鑑をご持参ください。

※奇数月の第1金曜日は女性専用日となります。

ひきこもり、不登校無料相談会

日時 11月7日（月）・21日（月）13：00～16：00

会場 菊川児童館（プラザけやき2階）

予約電話 090-1476-3233